

# 管理栄養士から見た、調剤薬局が果たしうる役割とは？

都島のど真ん中にある調剤薬局、〈都島センター薬局〉で働く藤垣風末さん。まるで居心地の良い喫茶店のような待合でお話をうかがいました。



都島センター薬局  
ふじがき かざみ  
藤垣風末さん

エイズ対策のキーパーソンたち



発行：MASH 大阪  
〒530-0027 大阪市北区堂山町11-2 堂山山よしビル4F  
☎&📠 06-6361-9300  
https://www.dista.osaka/

この資料は、大阪市のMSM向け HIV予防啓発広報紙作成事業で制作されました。

### 冬号の紙面 VIEW

- 2面 時事ネタWATCH
- 4面 男朋友
- 6面 知られざる偉人伝「橋本 治(その1)」
- 7面 海外男街通信「バンコク」

**MASH大阪(以下、M)：**ご出身は？

**藤垣(以下、藤)：**静岡県浜松市です。もともと食べることが好きで、高校生のときに管理栄養士という職業を知りました。そこから「食事と病気との関係」を学んでみたいと思うようになったんです。

**M：**管理栄養士への道が開けたら、迷わず進んだんですね。

**藤：**関西の大学の食物栄養学科に進学し、臨床栄養や公衆衛生、食品衛生など幅広い分野を学び、栄養士として社会でどう役立てるかを考えるきっかけになりました。就職活動の時期に、調剤薬局からの求人がたくさん出ていて驚きました。「薬局で管理栄養士がどんな役割を果たすんだろう」と思ったのですが、振り返ると、ちょうど2010年代に調剤薬局が差別化を図るために管理栄養士を求め始めた時期だったのだと思います。患者さんの生活を支援するのが調剤薬局の役割だと

**M：**この薬局に就職してからは？

**藤：**最初は調剤事務としての仕事に慣れるのに必死でした。でも受付に立つことで何度も来られる方も顔なじみになり、信頼関係を築けるようになりました。病院と違って、薬局では病気の予防の段階から関われるのも大きな特徴だと思います。栄養相談を通して患者さんの食生活が改善し、検査結果の数値に変化が見られたり、体調が良さそうで笑顔が増えたりすると、とても嬉しいですね。長く服薬を続けながら元気に生活されている姿を見守れることも励みになります。

**M：**職場の環境は？

**藤：**まずこの薬局は谷町線都島駅の真上のとても便利な場所にあります。さらに、すぐ近くに大阪市総合医療センターもありです。そのため、この界限に住んでいて「便利だから」と来られる方もいれば、大阪市立総合医療センターでHIVや腎疾患などの治療を受けている方も多く来られます。患者層は本当に幅広いですね。そして、どんな食事や栄養のニーズを抱えているのかは人によってまったく異なります。簡単にはわからないので、じっくり向き合う必要があると感じています。

**M：**なるほど、自分事として考えると、食事と栄養は自分のカラダをつくっているものだから、自分が何らかのニーズを抱えていることはわかっているけれど、あまりに日常のことだから、いざ専門家を前にしたらどこからお話してよいか分からない、ってなりそう…

**藤：**そうですね。でも調剤薬局を訪れる方たちは、処方箋と引き換えにお薬をもらうために来られるので、栄養相談のイメージはあまりありません。「ここで食生活のことも相談できるんだ」と思っていたらいいですね。工夫が必要だと感じています。

**M：**どんな工夫が…？

**藤：**薬剤師と連携し、栄養指導が必要と判断されたら私が呼びかける仕組みになっています。たとえば「腎機能の数値が気になる」「塩分を控えるように言われている」といった患者さんからの声があったときです。薬剤師が、お薬のお渡しの際に聞き取った食習慣を共有してくれるので、自然な形で連携がとれています。また、同じ建物内に整形外科があり、そこに通う独居高齢者も多いため、日常的な食生活のサポートはとても大切だと感じています。

**M：**大阪市総合医療センターがすぐ近くにあるということは、HIV陽性の方たちもいらっしゃる…

**藤：**そうですね。うちの薬局にはHIV薬について専門的な知

**M：**なるほど、病気と長くつき合っていくうえで食生活をどう改善していくのか。このことを個別に、そして継続的に考えていく環境が調剤薬局にはある、という力強いメッセージをいただきました。どうもありがとうございます。

**M：**大きな課題は、「安心してお薬の受け取りや食事の相談ができる場所を整えること」です。用事だけ済ませてすぐに帰られる方もいますが、服薬環境や食生活の改善について気になることがあれば、薬剤師や管理栄養士が力になります。相談のための個室もあり、プライバシーにも配慮しています。待合には季節ごとのレシビや栄養の豆知識を載せたパンフレットを置いたり、エイズ啓発フェスティバルなどのイベントにも参加したりしています。薬局だからこそできる「身近な情報発信」と「安心できる相談窓口」としての役割を、今後さらに強化していきたいです。

**M：**この薬局に就職してからは？

**藤：**最初は調剤事務としての仕事に慣れるのに必死でした。でも受付に立つことで何度も来られる方も顔なじみになり、信頼関係を築けるようになりました。病院と違って、薬局では病気の予防の段階から関われるのも大きな特徴だと思います。栄養相談を通して患者さんの食生活が改善し、検査結果の数値に変化が見られたり、体調が良さそうで笑顔が増えたりすると、とても嬉しいですね。長く服薬を続けながら元気に生活されている姿を見守れることも励みになります。

**M：**なるほど、自分事として考えると、食事と栄養は自分のカラダをつくっているものだから、自分が何らかのニーズを抱えていることはわかっているけれど、あまりに日常のことだから、いざ専門家を前にしたらどこからお話してよいか分からない、ってなりそう…

**藤：**そうですね。でも調剤薬局を訪れる方たちは、処方箋と引き換えにお薬をもらうために来られるので、栄養相談のイメージはあまりありません。「ここで食生活のことも相談できるんだ」と思っていたらいいですね。工夫が必要だと感じています。

**M：**どんな工夫が…？

**藤：**薬剤師と連携し、栄養指導が必要と判断されたら私が呼びかける仕組みになっています。たとえば「腎機能の数値が気になる」「塩分を控えるように言われている」といった患者さんからの声があったときです。薬剤師が、お薬のお渡しの際に聞き取った食習慣を共有してくれるので、自然な形で連携がとれています。また、同じ建物内に整形外科があり、そこに通う独居高齢者も多いため、日常的な食生活のサポートはとても大切だと感じています。

**M：**大阪市総合医療センターがすぐ近くにあるということは、HIV陽性の方たちもいらっしゃる…

**藤：**そうですね。うちの薬局にはHIV薬について専門的な知

**M：**なるほど、病気と長くつき合っていくうえで食生活をどう改善していくのか。このことを個別に、そして継続的に考えていく環境が調剤薬局にはある、という力強いメッセージをいただきました。どうもありがとうございます。

## こちらのHIV検査場はすべて無料・匿名です

大阪府版(2025年10月20日現在)

エイズの知識を深め、HIV検査に行ってみませんか？以下の検査施設では、無料・匿名でHIV検査を受ける事ができます。

[大阪市]		[高槻市]	
<b>北区役所 保健福祉センター</b> 大阪市北区扇町2-1-27 ☎06-6313-9882	月・金曜日 / 9時30分～11時 水曜日 / 14時～15時30分 第5金曜日 / 18時～19時30分 (定員100名)	<b>高槻市保健所</b> 高槻市城東町5-7 ☎072-661-9332	毎週金曜日 / 9時30分～10時30分
<b>中央区役所 保健福祉センター</b> 大阪市中央区久太郎町1-2-27 ☎06-6267-9882	火・水・木 / 9時30分～11時 第1金曜日★(HIVのみ) / 14時～15時	<b>豊中市保健所</b> ★ 豊中市中塚塚4-11-1 ☎06-6152-7316	第1火曜日・第3木曜日 / 13時～14時 HIV・梅毒
<b>淀川区役所 保健福祉センター</b> 大阪市淀川区十三東2-3-3 ☎06-6308-9882	月曜日 / 14時～15時30分 火曜日 / 9時30分～11時	<b>枚方市保健所</b> 枚方市禁野本町2-13-13 ☎072-807-7625	毎週火曜日 / 10時～11時30分
<b>chotCAST</b> 大阪検査相談・啓発・支援センター 大阪市中央区東心斎橋1-7-30 21心斎橋ビル4階 火・木・土・日曜日 ☎06-4708-5035 ※いずれも検査実施時間帯のみ [木曜日、土・日曜日はWEB予約] https://chotcast.com ※下記ホームページで、必ず検査実施状況をご確認ください。 http://www.smartlifeclinic.com/	火曜日 / 18時～19時50分 (先着50名) HIV・梅毒・B型肝炎 木曜日★ / 18時～19時30分 (先着50名) (予約制) HIV・梅毒・B型肝炎 土・日曜日★ / 14時～15時30分 (先着50名) (予約制) HIV・梅毒・B型肝炎	<b>八尾市保健所</b> 八尾市清水町1-2-5 ☎072-994-6644(感染症担当)	第2・4木曜日 / 9時30分～11時 (予約制/定員12名)
<b>堺保健センター(堺市役所敷地内)</b> 堺市堺区南瓦町3-1 ☎072-238-0123	第4水曜日 / 9時15分～10時45分	<b>寝屋川市保健所</b> 寝屋川市八坂町28-3 ☎072-829-7773	第1・3水曜日 / 9時30分～10時30分
<b>中保健センター</b> 堺市中区深井沢町2470-7(中区役所内) ☎072-270-8100	第3月曜日 / 9時15分～10時45分	<b>吹田市保健所</b> 吹田市出口町19-3 ☎06-6339-2227	第1・3金曜日 / 9時30分～11時
<b>東保健センター</b> 堺市東区白園荏原寺町195-1(東区役所内) ☎072-287-8120	第4火曜日 / 9時30分～11時	<b>池田保健所</b> 池田市満寿美町3-19 ☎072-751-2990	第1・2火曜日 / 13時30分～14時30分
<b>西保健センター</b> 堺市西区鳳東町6丁600(西区役所内) ☎072-271-2012	第1火曜日 / 9時15分～10時45分	<b>茨木保健所</b> ★ 茨木市大住町8-11 ☎072-624-4668	第1・2・4木曜日 / 9時30分～10時30分 ※ただし、12/25及び1/1は実施なし HIV・梅毒
<b>南保健センター</b> 堺市南区桃山台1-1-1(南区役所内) ☎072-293-1222	第3水曜日 / 9時30分～11時	<b>守口保健所</b> 守口市京阪本通2-5-5(守口市庁舎8階) ☎06-6993-3133	第2・4月曜日 / 10時～11時
<b>北保健センター</b> 堺市北区新金岡町5-1-4(北区役所内) ☎072-258-6600	第2火曜日 / 9時15分～10時45分	<b>四條畷保健所</b> ★ 四條畷市江瀬美町1-16 ☎072-878-1090	第1・3月曜日 / 9時30分～10時15分 HIV・梅毒
<b>美原保健センター</b> 堺市美原区黒山782-11 ☎072-362-8681	第4木曜日 / 9時30分～11時	<b>藤井寺保健所</b> ★ 藤井寺市藤井寺1-8-36 ☎072-955-4181	第2・3水曜日 / 9時30分～10時30分 HIV・梅毒
<b>サンスクエア堺</b> 堺市堺区田出井町2-1 サンスクエア堺B棟地下1階 第5会議室 ☎072-222-9933 (堺市保健所 感染症対策課(開庁時間のみ))	奇数月・第3水曜日 18時30分～20時(先着25名) HIV・梅毒	<b>富田林保健所</b> 富田林市寿町3-1-35 ☎0721-23-2683	第1・3水曜日 / 13時30分～14時30分
<b>堺市保健医療センター1階</b> ★ 堺市堺区甲斐町東3-2-6(保健医療センター内) ☎072-222-9933	偶数月・第3木曜日 / 10時～11時 ※HIV即日検査はR6年度で終了となりました。	<b>和泉保健所</b> 和泉市府中町6-12-3 ☎0725-41-1392	第2・4水曜日 / 9時30分～11時 ※ただし、12/24及び2/11は実施なし
<b>[東大阪市]</b>		<b>岸和田保健所</b> 岸和田市野田町3-13-1 ☎072-422-6077	第1・3火曜日 / 13時30分～14時30分
<b>東保健センター</b> 東大阪市旭町1-1 ☎072-982-2603	第3金曜日 / 9時30分～11時	<b>泉佐野保健所</b> ★ 泉佐野市上瓦屋583-1 ☎072-462-7703	第1・3月曜日 / 13時～14時 HIV・梅毒
<b>中保健センター</b> 東大阪市岩田町4-3-22-300 ☎072-965-6411	第2・4水曜日 / 9時30分～11時		
<b>西保健センター</b> 東大阪市高井田元町2-8-27 ☎06-6788-0085	第2・4月曜日 / 9時30分～11時		

## エイズ、性感染症について、気軽にご相談ください!

HIV陽性とわかった時、またエイズや性感染症について相談したり、情報が欲しい時、大阪には相談できるサービスや支援があります。気軽にお問い合わせください。

HIV検査や性感染症などに不安がある方

community center  
**dista**

性感染症について知りたい、相談や心配事がある、そんな方はご相談ください。お話を聞き、一緒に考えるお手伝いをします。電話相談と対面相談を行っています。相談員にはゲイの人も安心して。

MAP

住所：大阪市北区堂山町11-2 堂山山よしビル4F  
☎06-6361-9300  
木曜～日曜/17:00～22:00(月・火・水曜休館)  
https://www.dista.osaka/

相談がしたいHIV陽性の方

SO・SO・SO  
総合相談窓口

薬の飲み疲れ、依存症、高齢化と共に感じる将来への不安、その他の疾患による影響、引きこもりによる落ち込み、HIVの知識、生活などお悩み事は人それぞれです。気軽にご相談ください。

www.charmjapan.com/charmsoudan/

HIV陽性のゲイ・バイセクシャル男性

カフェイベント「あんおぼ」

HIV陽性のゲイ・バイセクシャル男性がふらっと立ち寄れる場所。谷町6丁目駅から徒歩3分のところにあるお店で、毎月第二日曜日14時～18時に開催しています。  
注：月曜日が祝日の場合は第三日曜日

詳細はこちら <http://www60.atwiki.jp/anopportunity/>

エイズに関する様々な相談をしたい方

エイズ予防財団

☎0120-177-812 (無料)

エイズに関するご相談を電話で受け付けています。お気軽にご連絡ください。

※携帯電話からは、03-5259-1815まで(有料)  
月曜～金曜/10:00～13:00、14:00～17:00(祝日は除く)

## [南界堂通信第53号 編集後記]

南界堂通信の X(旧Twitter)をフォローして最新情報をチェック!



- 長い長い夏の暑さから解放されて、鳥取、佐賀、長崎を旅してきました。あと、高知に行けば今年の旅はおしまい、かな?(哲)
- 先日の南界堂茶会。海外旅行や海外から来た方との交流の話、高齢者達の自主的な活動など記事に書ききれないことがいくつか。これらに強く感じるところがありました。(泰平)
- 10月の関西レインボーフェスタ、今年はパレードの時間が雨でした。何だか毎年雨が多いような…。来年は(同性婚裁判の最高裁判決もきっと出ているので)晴天だといいなあ。(大畑)

# 時事ネタ WATCH

中高年MSMと暮らし



## エイズ学会でシンポジウム 「生きていたい」を支える支援と社会を目指して

（その2・完）

記事は学会で公表された内容を紹介しますが、それでも機微な内容を含み、読み手によっては心理的負担をもたらす可能性があります。ご注意ください。

### 大阪医療センターでの調査報告

前号に続き、昨年のエイズ学会の「HIV陽性者の自殺とメンタルヘルスを考える」シンポジウムの紹介です。

安尾利彦さん（国立病院機構大阪医療センター臨床心理室）が、「医療機関における希死念慮・自殺企図」で、次の報告をしました。

「慢性疾患と位置づけられるようになったまま、HIV感染症に罹患して生きていくことは心理的に容易なことではなく、その緊迫度には濃淡があるものの、HIV陽性者から希死念慮が直接的に語られたり、そ

の行動から間接的に感じ取られることは少なくない。

幼少期を含む感染以前の生活における傷つき体験等によって、厭世観とともに長く生きてきた陽性者も、感染以降の生活で起こった様々な喪失体験のために、切迫感を持って生きていくに苦しい陽性者も存在する。」

安尾さん「大阪医療センターの感染症内科を受診したHIV陽性者の転帰について、診療録から抽出したデータでは、総死者数二七三名のうち、自殺とわかる方が十名（三・七％）でした。しかし、特定不能が十六名（五・九％）、同じく特定不能だが警察からの連絡・照会ありが四十七名（十七・二％）おられるので、**実際には、三七％以上が自殺である可能性**があります。

メンタルヘルスと自殺についての研究もなされ（白阪ら・二〇二四）、同センター外来通院中のHIV陽性者五〇〇名を対象に、自殺を含む精神症状、自己評価感情尺度等で構成される質問紙調査を実施し、記入漏れのない二四

五名を分析対象とした研究も報告されました。それによると、「消えたい」と考えたことがある方が一三六名（五十五・五％）、「本気で死にたい」と考えたこと」が九十名（三十六・七％）、「自殺の計画」三十三名（十三・五％）、「自殺の行動」二十五名（十・二％）おられ、この「自殺の計画あり」の三十三名の内、十三名（三十九・四％）が精神科受診がなく、十五名（四十五・五％）がカウンセリング利用がない等、**自殺のリスクのある陽性者が専門的援助に十分つながらない**という現状が明らかになりました。

これらの「自殺の計画あり/行動あり」の方たちは、**不安発作、心拍異常・呼吸困難発作、抑うつ、自傷行為、過去の外傷行為等の経験があることが報告され、この点を踏まえた自殺のリスクのアセスメントが必要**です。

**自殺の計画あり群行動あり群は**いずれも各なし群に比べて、**否定的な自己評価感情尺度が高い傾向にあり、自殺リスク**

と自己評価の低さが関係しています。」

### メンタルヘルスの専門家へつながらない

このように、自殺の計画を立てている人の半数弱が、精神科やカウンセリングを利用していない状況で、リスクアセスメントをどう行うかという課題が浮かび上がったようです。

安尾さん「援助者には、『死にたい』を否定せずに言い続けられる関係を基盤にしながらか、その『死にたい』に込められた思いや意味を陽性者とともに理解する粘り強い関わりが求められます。援助する側も孤立しないように十分に援助を受けることが、陽性者とともに生き延びるためには必要不可欠です。」

ちなみに、**大阪医療センターでは、主治医や看護師から心理的ニーズをキャッチしたクライアントには、心理職等の職種につないでくれる**、とのこと。

ここからは私見ですが、決してHIV陽性ということだけで自殺念慮につながる訳ではないでしょうが（「緊迫度

### 追っかけエイズ

## コミュニティの動向 「2024 Communityアンケート」より

二〇二四年四月・五月と十二月の二回、MASH大阪と協力して「2024 Communityアンケート」を実施しました。例年、コミュニティのみなさんにご協力頂きながら行っていたアンケート調査が、COVID-19の流行に伴い一旦中止となっていました。数年ぶりに再開できたことを大変嬉しく思っています。この場をお借りして、アンケートに回答して下さったみなさん、バーのママさん、ハッテン場のオーナーさん、アンケート配布に関わってくださったすべての方に心より感謝申し上げます。

今回の調査は、**性的にアクティブな方々のセクシアルヘルスに対する認識と予防行動の実態を明らかにすることを目的として実施**されました。その結果の一部を、コミュニティのみなさんにご報告したいと思います。

まずは、分析対象となった方の属性です。回答者の年代は、二十代が二十四％、三十代が二十八％、四十代が二十五％でした。居住地は、大阪市が六十三％と最も多く、大阪市近



※PrEP

（pre-exposure prophylaxis：曝露前予防投与）とは、HIVに感染していない人や感染リスクの高い人が、感染リスクのある状況に備えて抗HIV薬を事前に服用し、感染を予防する方法です。

文 ● 澤田華世（名古屋市立大学大学院看護学研究科）  
精神科の病院で勤務してきた経験を活かし、distaでは、気軽に専門家とおしゃべりするプログラム『しゃべるかあ』（月4回開催）を担当しています。



（写真左より）小手川望さん（萩之茶屋地域周辺まちづくり合同会社）、TORUさん（ミナミ：ぼかば屋）、HIDEKIさん（堂山：DUNGAREE）



第十九回は「定年後の楽しみ」をテーマに、DUNGAREEのHIDEKIさん、ぼかばか屋のTORUさん、萩之茶屋地域周辺まちづくり合同会社

の小手川望さんをゲストに迎えて九月十五日に開催されました。話は定年後の楽しみから生き方に広がりました。また老後の備えを考える機会にもなりました。

TORUさんは「ぼかばか屋」というバーを二十二年間経営し、昼間は絵の学校の先生もしています。今年五十三歳になるTORUさんは、自分より二十歳上の人々の生き方を参考にしてきたと語りました。TORUさんは特に、ガンダムのメカニックデザイナーとして有名な大河原邦男先生との交流について詳しく話しました。Twitterでの交流から始まり、実際に電話をかけ、展覧会への作品提供を依頼するまでの経緯を説明しました。大河原先生は六十歳を過ぎた時に、今までファンの人たちに支えられ

てきたからこれからの十年間はファンの人のために恩返ししようと思ったらしく、TORUさんはその恩恵を受けたようでした。**定年後の楽しみを自分自身の楽しみと考えていましたが、この経験からファンの人に恩返しできるような素敵な行動をするのが今の楽しみ**になっているそうです。

HIDEKIさんはDUN-GAREEを営んで二十九年目。五十七歳のHIDEKIさんは、五十歳を迎えた時に、五十歳を迎えずに亡くなった、またHIVで亡くなった友人たちのことを思い、**自分がやりたいことを精一杯素直に生きてみよう**という結論に達したと語りました。五十歳の記念として入れたタトゥーの意味や、海外旅行について話しました。

と、（自身を振り返っても）思いません。そうした「荷物」を少しでも減らせる仕組みが社会に（陽性者に限らず）必要だろうとは思ったのでした。

と、（自身を振り返っても）思いません。そうした「荷物」を少しでも減らせる仕組みが社会に（陽性者に限らず）必要だろうとは思ったのでした。

https://www.dista.osaka/1037

「しゃべるかあ」の案内  
distaでは、気軽に専門家とおしゃべりするプログラム「しゃべるかあ」を実施しています。日々の想いや考えごとや悩み、仕事や性感染症の話など、じっくりお聞きしています。

日時	9月 6日、14日、21日、28日
10日、4日、12日、19日、26日	
11日、2日、9日、15日、30日	
12日、14日、20日、21日、28日	

17:00-20:00 予約不要

11/30、12/14、12/20、12/21、12/28 の  
17:00 ~20:00（予約不要）

になったお客様に面会に行った時、「ママ」と呼びかけられゲイの話をしたが、介護士たちは差別なく対応していたと語りました。それまでは映画にあったゲイでシェアハウスみたいにして余生を過ごすのでもいいかなど思っていたけれども一般の施設に入って問題ないかなと思っただけです。

小手川さんは大阪市西成区の釜ヶ崎で活動しており、「紙芝居劇むすび」という高齢者グループに参加している経験が話されました。このグループは2005年に発足し、生活保護を受けて日々することがなくなった高齢者たちが自分たちでできることとして始めたものです。紙芝居劇は単なる紙芝居ではなく、参加者が舞台上並んでセリフを言う「劇」の形式をとっていることが説明されました。参加者の多くは様々な背景を持ち、中には文字を読むのが苦手な人もいましたが、それぞれの生き様が表現に表れると語られました。また、むすびは身寄りのない方の葬儀を引き受けてきた経験があり、警察から遺体を引き取るために大家さんと連携する方法が話されました。

このあと来場者をお交す話となりました。定年後の楽しみ方は人それぞれであるものの、新しいことへの挑戦、恩返し、コミュニティとのつながりなどが浮かび上がりました。

# 情熱と愛を表現する、 世代を超えた ラテン系のゲイ・ポップ・スターたち

今年、ポップ・ミュージック・ファンのゲイの間でリッキー・マーティンが話題になったのはご存じだろうか。郷ひろみにもカバーされた大ヒット曲“Livin'la Vida Loca”が1999年のリリースなので、もう四半世紀以上前。なんで今頃？と感じる方もいるだろうけれど、「キング・オブ・ラテン・ポップ」と呼ばれる彼は、全盛期ほどではないにせよ、ペルトリコ出身のスーパースターとして精力的に活動を続けてきた。そして、2025年の9月に開催された〈MTVビデオ・ミュージック・アワード〉で特別に用意された「ラテン・アイコン・アワード」を受賞するとともに、自身のヒット曲のメドレーを披露したのだ。そのパフォーマンスがもう、あまりにもエネルギッシュでキレッキレ。パワフルなラテン・ミュージックとともに歌って踊って、会場を大いに沸かせたのだった。

現在53歳のマーティンだが、坊主&ヒゲ&ノースリーブの姿はワイルドで、25年前よりもそのセクシーさが刺さるゲイも少なくないはず。ぜひ、映像を観ながら踊ってほしい。また、出演前には上半身裸のオフショットも自身のSNSにアップしていたので、マーティンの今の熟成



Ricky Martin, Carin León [A Medio Vivir]



<https://youtu.be/E4Z4F6p9wP0?si=dSbUcCb5Nn7uYH90>



## プロフィール ● 木津毅(きづ・つよし)

ライター。1984年大阪生まれ。映画、音楽、ゲイ・カルチャーを中心に様々なジャンルで執筆している。『ミュージック・マガジン』で「木津毅のLGBTQ+通信」連載中。編書に田亀源五郎『ゲイ・カルチャーの未来へ』(Pヴァイン)、著書に『ニュー・ダッド あたらしい時代のあたらしいおっさん』(筑摩書房)がある。

ぶりが気になる方はそちらもチェックを。

思い返せば、一番売れていたときのリッキー・マーティンは恋愛事情についてはあまり語らず、パパラッチに追われ、「ゲイ疑惑」などと報道されていた。イヤな話だけど、アウトイングが問題視されるよりもずっと前の時代だ。

そんな彼が正式にカミングアウトしたと話題になったのは2010年のこと。カトリック教徒として育てられ、同性愛は悪だと教えられたことで思い悩んできたけれど、「自分は幸せな同性愛者」だと発表した。それ以来、LGBTQコミュニティを積極的にサポートし、また、プライベートでも双子を育てる父親になっている。同性結婚したジュワン・ヨセフとはすでに離婚しているが、円満に共同で子育てしているとのこと。いずれにせよ、リッキー・マーティンほどの超ポップ・スターがオープンリー・ゲイとして現在もいきいきと活躍しているのは嬉しいことだ。

もうひとつマーティンにスポットライトが当たった理由として、アメリカの現政権によってラテン・ルーツの人びとに対する風当たりが強くなっていることも関係しているのではないだろうか。そのことでかえって、ラテン・ルーツのゲイ・アイコンとしてもマーティンは再注目されているのである。最新シングルとしては、30年前の自身のバラード“A Medio Vivir”をメキシコのシンガーソングライターのカーリン・レオンとのコラボレーションとしてセルフ・カバー。ラテン・ポップ・スターとしての健在ぶりをアピールしている。

そこで今回、新世代のラテン系のゲイ・アイコンとして紹介したいのが、1997年生まれのシンガーソングライター、オマー・アポロ。メキシコ人の両親を持つ彼はR&B、ソウル、ファンクなどをモダンにミックスしたポップ・



ミュージックでたちまち人気になったポップ・シンガーだ。そしてデビュー時からゲイ/クィアであることをカミングアウトして、自身のセクシュアリティについても率直にテーマにしている。たとえば“Ice Slippin”という曲は、子どもの頃に家族にカミングアウトしたとき、受け入れてもらえなかった経験を繊細な音楽に乗せて振り返ったもの。そういう意味では、**今も昔も思春期のゲイの悩みは案外変わらないもの**なのかもしれない。



Omar Apollo [God Said No]



[https://youtu.be/Lw4AMr\\_ddd4?si=uzDdSZ4GNMvSjUAc](https://youtu.be/Lw4AMr_ddd4?si=uzDdSZ4GNMvSjUAc)

だからこそ、**いつの時代もゲイであることを表現するポップ・ミュージックやポップ・スターの存在が必要**なのだ。アポロは以前このコーナーで紹介した映画『クィア/QUEER』に出演し、大胆なヌードも披露しているが、これからも多彩な活躍が期待される存在なので要注目だ。

**どれだけアメリカの社会や政治が反動的になっても、ラテン系のポップ・スターたちの輝きは衰えない。そのなかには当然ゲイであることを堂々と表現しているアーティストがいて、それぞれのプライドを高らかに掲げているのである。**



MASH大阪(以下、M)・・・映画では、福正さんが身近な人たちにゲイでありHIV陽性であること、覚せい剤使用やアルコール依存だったことをカミングアウト。その様子や、された側の人たちの反応が、ドラマや感傷を排してテンポよく描かれています。その分、福正さんの等

身大のリアリティが伝わってきたのですが、監督の山後勝英さんとともに映画を制作し、ぼんつくさんとともに上映のために日本中を行脚してみても、あらためて感じていることは？

福正大輔(以下、福)・・・「カミングアウトはしたら終わりじゃない！」。自分で映画にして、あち

こちで上映会を開くと、対話する機会がどっと増えて、人生がより豊かになった気がしています。以前は母親から「結婚はまだ？」、「孫の顔が見たい」と言われて、そのたびに軽く傷ついていた自分がいた。それがカミングアウト以後、言われなくなった。それどころか、「ぼんつくさん、元氣？」って訊いてくるようになって、「あっ、パートナーを認知してくれてるんだ！」。母が心配してたのは「結婚しない僕」というより「孤独な人生を歩む僕」だったのだな、と。

M・・・ぼんつくさんとどこで？  
福・・・東京のゲイバーで働いていた頃からの仲間の一人だったのが、四年前、二人きりで話すことがあって、洗いざらいぶちまけた。HIV陽性のこと、ドラッグやアルコール依存のこと、覚せい剤で逮捕されたこと、それから依存症の人たちの支援活動をするなども。そして、**急性に關係が深まって...**

M・・・なるほど、カミングアウトが關係を深めるってことを実感した！  
福・・・そう、それまでの自分は、ゲイのことHIV陽性のことは隠さないといけないものだ。ゲイバーで働いてるとき、お客さん同士の「妖精さんには気をつけなきゃね」みたいなやりとりを耳にしていたんです。「妖精さん」とは「陽性の人」のことね。そのときは「そうか、ゲイコミュニティに知られてはマズいんだ」。二〇代前半の頃です。そんな閉塞状況の中にいたからこそ、脳を切り換えることに食欲になったのだ。そして切り換えのツールがクスリとアルコールとセックス。というか、クスリとアルコールはいいセックスをするためのツールだった。未知の自分を見させてくれ、相手と深い仲になれたと思わせてくれるツール。ほんの一時だけだね。

M・・・新たな出会いが増え、充実した日々を送っているとのことですが、それ以外に変化は？  
福・・・僕のカミングアウトは「生き方を変えたよ！」っていう宣言だったと思う。薬物については「回復しました」、HIVは「治療を継続します」、ゲイについては「これが僕の生き方です」という。そうすると、母のパートナー認知発言のように、**HIV薬を隠さず飲めるようになるし、障害者手帳も気兼ねせずに使えるようになる。ただ、覚せい剤で逮捕されたことに対しては、「社会規範からはずれた人」とみなして離れていった人もいた。「お母さんを引っ張り出したのはデリカシーに欠ける」とも言われたけど、「生き方を変えたよ！」って宣言したからには、どんな反応にも対話の糸口を見出ししていきたいし、依存症の人たちの支援活動も続けるつもり。長い目でみたら、カミングアウトには良い効果しかない、かな。**

# 男 for you 朋友

## カミングアウトは「生き方を変えたよ！」って宣言するって

### 日本縦断、映画上映ジャーニーのひとコマ

去る七月二十七日、d i s t aでドキュメンタリー「カミングアウトジャーニー」の上映会が開催。ひと月後、広島県福山市のホテルで、映画を企画した福正大輔さんに自身のカミングアウト観を語っていただきました。インタビューにはパートナーのぼんつくさんも同席。福山はぼんつくさんの出身地、福正さんは同じ広島県の呉市の出身で、翌日には福山市民向けの上映会が開かれ、親族や恩師も参加する予定だそう。その様子も(後日)語ってもらいました。

ですが、それ以外に変化は？  
福・・・僕のカミングアウトは「生き方を変えたよ！」っていう宣言だったと思う。薬物については「回復しました」、HIVは「治療を継続します」、ゲイについては「これが僕の生き方です」という。そうすると、母のパートナー認知発言のように、**HIV薬を隠さず飲めるようになるし、障害者手帳も気兼ねせずに使えるようになる。ただ、覚せい剤で逮捕されたことに対しては、「社会規範からはずれた人」とみなして離れていった人もいた。「お母さんを引っ張り出したのはデリカシーに欠ける」とも言われたけど、「生き方を変えたよ！」って宣言したからには、どんな反応にも対話の糸口を見出ししていきたいし、依存症の人たちの支援活動も続けるつもり。長い目でみたら、カミングアウトには良い効果しかない、かな。**

M・・・最後に、今後の抱負について聞かせてください。  
福・・・映画の第三弾を企画しています。HIVもしくは依存症の話になるでしょう。映画は「対話」を生むツールとして、いろんな人に使ってもらいたいと考えています。教育現場や市民交流会などの、私やぼんつくがいけない場面でも使ってもらえるとうれしい。海外での上映会も考えてます。さまざまなかミングアウトが左利きになる社会をめざして、上映するジャーニーを続けます！

M・・・興味深く力強いお話、どうもありがとうございます！  
福・・・ありがとうございます！



の様子を聞かせてください。福・・・上映会のあと、必ず対話の時間があります。そこで兄から「大輔がゲイと知ったのは、大輔が中学くらいのときで...」と僕の知らない話が出てきた。島根の伯母(母の姉)は、「大輔にはいいお嫁さんを早くもらってほしい」と思っていたけれど、こういう形もあるんだとわかった」と心境の変化を語ってくれました。映画には伝える力があるし、**カミングアウトには別のカミングアウトを引き出す作用がある**ことが改めてわかりました。

M・・・最後に、今後の抱負について聞かせてください。  
福・・・映画の第三弾を企画しています。HIVもしくは依存症の話になるでしょう。映画は「対話」を生むツールとして、いろんな人に使ってもらいたいと考えています。教育現場や市民交流会などの、私やぼんつくがいけない場面でも使ってもらえるとうれしい。海外での上映会も考えてます。さまざまなかミングアウトが左利きになる社会をめざして、上映するジャーニーを続けます！



シーロム ソイ4

### ✈️ 海外男街通信

## バンコク・シーロムのゲイクラブ



**バンコクのナイトライフを語るうえで欠かせないのが、シーロム(Sirom)エリアに集中するゲイクラブです。**観光客にも地元の人にも開かれた空間で、音楽とダンスを楽しむながら国際的な交流ができるのが大きな魅力です。その中でも、特に注目を集めているゲイクラブが「BEEF」です。

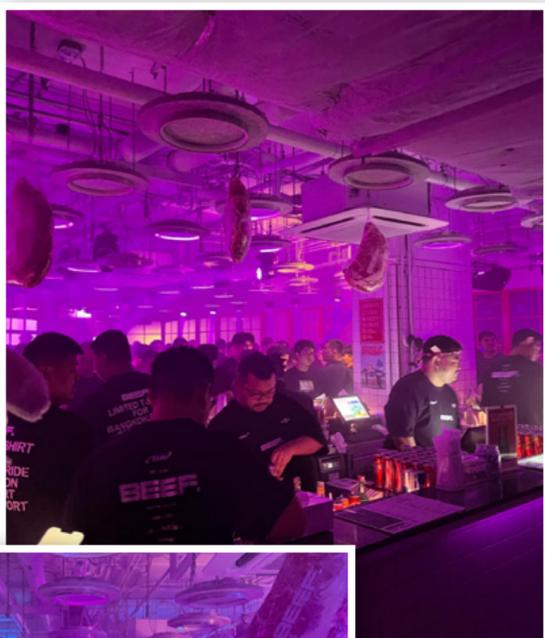
「BEEF」は以前、シーロムのソイ4(ゲイストリートとして有名)にありましたが、現在は、MRTシーロム駅からすぐの場所にある、Sirom Edgeというモールの9階に移転しています。移転前よりも店内が広くなり、バルコニーも増えて、より多くの人が楽しめる空間となっています。店内でお酒を飲みながら踊っ

た後は、バルコニーで夜風に当たりながら少し休憩、といった楽しみ方もできます。バルコニーは喫煙スペースにもなっているため、タバコを吸いながら交流している人々も多く見られます。

スタッフはガチムチ系が多いですが、ガチムチオンリーのクラブという訳ではなく、年齢、体型、性別、国籍を問わず、オールジャンルの人々が集まります。女性やストリートも入場可能です。男女の友人グループで訪れている人々もおり、誰でも気軽に楽しめるフレンドリーな空間です。

入場料は400バーツ(約1850円。現金不可)。入場前には身分証明書の提示が必要です(パスポート顔写真ページの画像データの提示でも可)。入場料を受付で支払うと、すぐに使える2ドリンクチケットがもらえます。

「BEEF」は特に、週末や祝日には大混雑し、夜10時を過ぎると、クラブ前には入場を待つ人の長い列ができ、30分以上並ぶことも珍しくありません。ただ、チケット



「BEEF」のスタッフ達



「BEEF」の店内

「BEEF」は特に、週末や祝日には大混雑し、夜10時を過ぎると、クラブ前には入場を待つ人の長い列ができ、30分以上並ぶことも珍しくありません。ただ、チケット

を一度購入すれば何度でも再入場が可能なので、少し早めに「BEEF」に到着して、先にチケットを購入しておくのがおすすめです。

シーロムには、「BEEF」以外にも様々なゲイクラブが揃っています。

「DJ Station」は、バンコクのゲイクラブの老舗。複数のフロアに分かれており、ドラッグクイーンによるショーや、K-Popを中心に盛り上がるダンスフロアなどもあり、色々な楽しみ方ができます。

「CAKE Bangkok」は、最近できたガチムチ系が集まるナイトクラブ。

「HORNI」は、シーロムソイ

4に新たにできたテクノバーで、スタイリッシュな空間でDJによるテクノやエレクトロニック系の音楽を楽しむみたい方向け。

最近、シーロムエリアでは、新しいゲイクラブが次々とオープンしていますが、その中でもやはり「BEEF」が一番人気であり、バンコクに来た際には、一度は訪れておきたい場所の一つと言えるでしょう。また、それぞれのクラブで特徴が異なるため、一軒だけでなく複数のクラブを巡ってみて、自分に合ったクラブを探してみたいかが良いでしょうか。

#### 文 ● バンコク駐在4年のリーマンゲイ

コロナ禍に仕事で来タイし、現在はバンコクのオフィスでタイ人の同僚と共に日々業務に取り組んでいる。タイの人々は非常に寛容でゲイフレンドリーであり、とても暮らしやすい環境だと感じている。好きなタイ料理はガパオとカオニャオマムアン(もち米とマンゴーのデザート)。休日は旅行やテニス、カフェ巡りなどを楽しむ。

いやあ、驚きましたよ、オサムちゃんが遺した作品の数と分野の幅広さに。ウィキペディアで調べたら、小説・戯曲だけで三十冊越え。正直、『桃尻娘』(全六巻)と『草薙の剣』くらいしか知りませんでした(滝汗)。

評論・随筆はなんと百冊越え! その守備範囲がハンパなくて、現代社会の諸相を独自の手つきで深掘りしたものの(『貧乏は正しい!』シリーズ、『たとえ世界が終わっても』等々)、性愛・同性愛を真面目に論じたもの(『蓮と刀』、『三島由紀夫』)とはなにもなかったのか、『性

のタブーのない日本』等々)、会社論(『上司は思いつきでものを言う』)、国家論(『国家について考えてみよう』)、古典芸能論(『浄瑠璃を読もう』、『大江戸歌舞伎はこんなもの』等々)、美術史(『ひらがな日本美術史』全七巻!)、映画・芸能論(『ロバート本』、『風雅虎の巻』等々)、空前絶後の少女漫画論(『花咲く乙女たちのキンピラゴボウ』)等々、枚挙のいとまがないとはこのことですな。

でもこれで終わりじゃない! 『古事記』『源氏物語』『枕草子』『平家物語』『徒然草』『百人一首』等々の現

代語訳が控えているんです。『枕:』三巻、『源氏:』十四巻、『平家:』十五巻…。  
**「枕:」がなぜこんなに長いのかって? それは、とっても詳しい註がついていて、しかもそれを清少納言に語らせているからなんですな。**国文学のエリア先生だと「註・左衛門の陣とは、内裏の建春門にある、左衛門府の役人の詰め所」となるところが、「あ、左衛門の陣ね。これは警備員の詰め所だと思ってください。『衛門』というのは、門を衛る。ね。だからガードマンよ:」ってな具合。本文も註も清少納言が語っているから、自分が本文を読んでいるのか註を読んでいるのか分からなくなるんだけど、そんな混沌の中から当時の宮中の生活が鮮やかに浮かび上がってくる。註で清少納言はこんなことも言う

——「ツェらい人、っていうものを中心にしてすべてが出来上がってる訳よね。:(誰かが)あたし達とところへ夜這ってきたとして、部屋の戸

開けたって、その先には几帳っていうカーテンがあるからさ、もうここは開けらんないのね。ドアよりカーテンのほうが開けるのは簡単、ってあなたちだったら考えるかもしれないけど、あたし達では逆なの。ドアは黙って開けられても、几帳は黙って開けられないの。

:という訳で結論。寝殿造りのプライベートは、壁が作るんじゃないって、しきたりが作るの。あたし達はそうやって生きていた、とそういう訳なの。

あー、こんな本が高校時代に読めていたなら:って思うのはワタクシだけではないはず。

古典の現代語訳にこれ以上深入りするのとは別の機会に譲ることにして、次に取り上げるのは、『貧乏は正しい!』シリーズね。古文に悩まされる高校生が『桃尻語訳枕草子』のターゲットだとしたら、こちらは月刊誌『ヤングサンデー』の読者層。九〇年代、バブルがはじけた頃の数年間、オサムちゃんは



「『家族』以外のきずなが発見できないからこそ、イナカというものはそれを『うるさい』と思う人間によって、見捨てられてしまふのだ」。

#### 文 ● 鬼塚哲郎

大阪市中央区に棲む無職の老人。橋本治は自分なりに愛読してきたつもりでしたが、ホンの一部しか触れて来なかったとわかり、愕然としました。今後しばらくは古典の現代語訳に取り組んでいきたいと思っています。それにしても、『枕草子』の註の懇切丁寧かつ自由闊達な点、そして著者自身に語らせる趣向、見事です。

これを読んだとき腰が抜けたワ。だってこれ、ワタクシのことだったの。大学進学をめざす九州の田舎の高校生にとって、選択肢は三つ

——地元九州か東京か関西の大学。そして九州と東京には行きたくなかった。九州には家族がいたし、東京には近い親族(母の姉と兄とその家族)がいた。だから誰もいない関西に来たって訳。もちろん当時は「九州も東京もなんとなくやだな」くらいにしか思ってたかったけれど、「なんとなくやだな」を見事に解き明かしてくれたオサムちゃん、アンタは偉い!

**あるときは清少納言に化け、あるときはノンケ男子の大先輩に化けるオサムちゃん、やっぱり唯一無二の存在でした。**見て見ぬふりをしてきたワタクシ、これから精進して世の中にオサムミストを増やすべく頑張ります!



## 偉人伝 知られざる

橋本 治 (1948-2019)

たぶん日本で初めて、「自分はゲイだ」ってはっきり言った作家。それゆえこのコラムでは真っ先に取り上げるべき作家とは知りつつも、その著作の眼も眩むような膨大さ、多岐にわたる二の足を踏んでおりました。以後、何回連続とか決めずに、この類い稀な作家の遺した著作を読者の皆様に紹介して参りたいと思っております。

## 清少納言を女子高生に憑依させる異能の作家・橋本治

はしもと おさむ